

株式会社ウェルアス様

サステナビリティ経営への取組み

ウェルアス様が設定した目標・KPIは概ね順調に進捗しています。

環境面においては、社内照明のLED化やエコ車両の導入など省エネルギー化の取組みを推進しております。引き続き省エネ化の取組みを継続するとともに、今後はペーパーレス化や再生エネ導入などを検討していくとヒアリングしています。

社会面においては、社会問題解決型商品の販売推進や商品開発を推進しました。また安定供給体制の強化のため、保管倉庫の拡充を行いました。今後は、生産性向上による年次有給休暇の取得促進や時間外労働の抑制を図り、さらなるポジティブインパクトの創出が期待されます。

株式会社北洋銀行

SDGs達成とインパクトへの取組み

環境

- エコ車両を13台(うちクリーンディーゼル車5台)導入しました。
今後は、クリーンディーゼル車を低燃費車両へ切り替えることも検討してまいります。
- 当社事務所の照明のうち、会議室、応接室、玄関、廊下についてLED化しました。
今後も、残りすべての照明のLED化を進めてまいります。
- 紙の使用量については、システム入替に伴う納品書の仕様変更により増加しました。
他業務での使用量削減を促進させることで、全社での使用量削減に取り組んでまいります。
- 再生可能エネルギー由来の電力使用比率については、調達先の選定など具体的な手法を調査・検討中の段階です。



【インパクトに基づく取組内容とKPI】

	インパクト	取組内容	K P I実績	K P I目標
1	環境負荷の低減	CO2排出量の削減	2022年度:増減なし (具体的な取組方法を検討中)	2030年度までに再生可能エネルギー由来の電力の使用比率を向上させる
			2022年度:13台 (うちクリーンディーゼル車:5台)	2030年度までにエコ車両を15台に増加させる (2021年度:5台)
			2022年度:会議室、応接室、玄関、廊下の照明をLEDに変更	2023年度までに事務所の照明を全てLED化する
	ペーパーレスの促進		2022年度:使用量増加 (システム入替に伴う納品書の変更のため)	2030年度までに紙の使用量を削減する (新システム本格稼働以降、用紙発注数量を削減していく)

社会・地域

- 売上高に占める自社オリジナルブランド製品の割合は11%と、前年度対比で6ポイント増加しました。
今後も、お取引先さまのニーズに合わせた販売に努めてまいります。
- 一部の従業員に対して研修を実施し、資格取得を支援しました。
今後は、業務スケジュールを調整するなどにより、全従業員に対する研修時間を確保してまいります。
- 女性管理職比率は50%となり目標を上回りましたが、水準維持・増加に向けた取組みを継続してまいります。
- 新製品のリリースやECサイトの開設については、市場調査や製品開発、採算性など検証中の段階です。
- 有給休暇取得率および月間平均残業時間については、システム入替に伴う影響により増減がありませんでした。
今後、新システムの本格運用により生産性が向上する見込みであり、働き方改革を推進してまいります。



【インパクトに基づく取組内容とKPI】

	インパクト	取組内容	K P I実績	K P I目標
1	社会課題の解決に向けたオリジナル製品の展開	自社オリジナルブランド製品の取扱量の増加	2022年度:11%	2030年度までに売上高に占める割合を20%まで増加させる (2021年度:5%)
		新製品の開発	2022年度:4個開発 (累計6個開発)	2030年度までにアイテム数を15個に増加させる (2021年度:2個)
		ECサイトの開設	2022年度:未開設 (計画検討中)	2022年度までにECサイトを開設する
2	働きやすい職場づくりとダイバーシティの推進	従業員のスキルアップ支援	2022年度:一部の従業員に対して研修実施	2024年度までに研修メニューを充実させ1ヶ月に1回研修時間を設ける
		女性管理職割合の維持・増加	2022年度:50%	2025年度までに女性管理職を30%にする (2021年度:28%)
		生産性向上による働き方改革の推進	2022年度:増減なし (システム入替直後につき効果軽微)	・2025年度までに年次有給休暇取得率を向上させる ・2025年度までに月間平均残業時間を削減する

経済・ガバナンス

- 社会問題解決型商品の販売額は20億円と、前年度対比で2億円増加しました。
新規お取引先への販路拡大が奏功したものです。今後もニーズに合わせた商品提案や販売に努めてまいります。
- 商品の安定供給対策として、2ヶ所の倉庫を活用して商品の分散保管を実施しました。
今後も、大規模倉庫の新規取得や災害時行動マニュアルの整備によりBCPの強化に努めてまいります。
- インパクト評価の対象外ですが、SDGs経営の実践として社内会議の場でテストを実施したほか、小学校での出前授業や、地域のお祭りなどイベントに参加しました。
今後も、医療福祉分野を活かした地域貢献活動を積極的に行ってまいります。



【インパクトに基づく取組内容とKPI】

	インパクト	取組内容	K P I実績	K P I目標
1	多様な商品の取り扱いとその安定供給	社会問題解決型商品の販売量の増加	2022年度:20億円	2030年度までに35億円まで増加させる (2021年度:18億円)
		安定供給体制構築のための在庫量の増加	2022年度:2ヶ所の倉庫を活用	売上規模に応じた倉庫のキャパシティを確保する
		BCPの強化	2022年度:商品の分散保管を実施	2030年度までに事業継続力強化計画を策定する
2	SDGs経営の実践	SDGs経営実践に向けたステークホルダーとの対話の充実	-	-
		地域貢献活動の推進	-	-

